

分の表面に暴露する處は一望皚々として積雪かと疑はしむ、此の地帯は晴天には馬糞と鹽分を混じたる塵埃、惡臭を放ちつゝ濛々飛揚し、眼睛を障害し、呼吸を逼塞せしめ不快言ふべからざるもの有り。故に之れを過ぐるには、馬上先頭に立ちて行進せざるべからず、又融雪期に會すれば、泥濘脚を没し、車輪を噛み、夏期は蠅虻羣飛して人馬を惱まし、通過の困難は想像の外に在りとす。

而して此の鹹土部のみには植物の生長する有るも、此の種類は素より多からず。紅柳、梧桐、野棗の類、又は蘆葦等を叢生せしめ、殊に鹹土の丘阜連綿たる上には、紅柳の生長せるもの有りて、其の蟠根は能く丘阜の沙土を保持し、遠く之を望めば、宛然鬱蒼たる大森林に似たるもの有り。

新疆に於ける沙漠の實質は暗灰色なる細沙或は礫石、大部を占め之に鹹土及び濕地等の相交錯せること上述の如し。而して紅柳の翠綠滴らんと欲する處、梧桐野棗の蒼鬱枝を交ゆるの邊、蘆葦の叢生して虎狼を棲息せしむるの畔、鹹土能く動植物を發生せしむると雖も水なくんは如何ぞ之を保育すべけんや。果せるかな斯る植物の生存する地には必ず沼澤河流等の之を潤すもの有るを。